

ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第210期（決算日 2020年5月15日）
第211期（決算日 2020年6月15日）
第212期（決算日 2020年7月15日）
第213期（決算日 2020年8月17日）
第214期（決算日 2020年9月15日）
第215期（決算日 2020年10月15日）

（作成対象期間 2020年4月16日～2020年10月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、豪ドル建ての公社債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	無期限		
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	内外の公社債、ＡＢＳ（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、ＭＢＳ（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。		

◇TUZ0583020201015◇

<5830>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSEオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
186期末(2018年5月15日)	6,520	60	△ 0.7	27,834	△ 0.9	97.5	△5.6	9,457
187期末(2018年6月15日)	6,456	60	△ 0.1	27,908	0.3	97.5	△4.7	9,334
188期末(2018年7月17日)	6,486	60	1.4	28,430	1.9	97.7	△4.8	9,343
189期末(2018年8月15日)	6,252	40	△ 3.0	27,603	△ 2.9	97.8	△4.8	8,999
190期末(2018年9月18日)	6,183	40	△ 0.5	27,481	△ 0.4	97.7	△5.0	8,484
191期末(2018年10月15日)	6,086	40	△ 0.9	27,157	△ 1.2	97.5	－	8,311
192期末(2018年11月15日)	6,296	40	4.1	28,322	4.3	97.6	－	8,571
193期末(2018年12月17日)	6,196	40	△ 1.0	28,347	0.1	97.7	－	8,353
194期末(2019年1月15日)	5,957	40	△ 3.2	27,608	△ 2.6	97.1	－	7,976
195期末(2019年2月15日)	5,996	20	1.0	27,979	1.3	97.5	－	6,776
196期末(2019年3月15日)	6,090	20	1.9	28,665	2.5	97.9	－	6,724
197期末(2019年4月15日)	6,180	20	1.8	29,238	2.0	97.7	－	6,627
198期末(2019年5月15日)	5,879	20	△ 4.5	28,054	△ 4.1	97.8	－	6,283
199期末(2019年6月17日)	5,839	20	△ 0.3	28,267	0.8	97.8	－	6,170
200期末(2019年7月16日)	5,925	20	1.8	28,630	1.3	97.4	－	6,151
201期末(2019年8月15日)	5,662	20	△ 4.1	27,946	△ 2.4	97.5	－	5,706
202期末(2019年9月17日)	5,788	20	2.6	28,507	2.0	98.1	－	5,801
203期末(2019年10月15日)	5,741	20	△ 0.5	28,536	0.1	97.7	－	5,750
204期末(2019年11月15日)	5,737	20	0.3	28,452	△ 0.3	98.1	－	5,656
205期末(2019年12月16日)	5,813	20	1.7	28,871	1.5	97.7	－	5,673
206期末(2020年1月15日)	5,834	20	0.7	29,119	0.9	97.8	－	5,670
207期末(2020年2月17日)	5,693	20	△ 2.1	28,725	△ 1.4	97.4	－	5,499
208期末(2020年3月16日)	5,047	20	△11.0	25,616	△10.8	97.8	－	4,833
209期末(2020年4月15日)	5,288	20	5.2	27,107	5.8	97.8	－	5,052
210期末(2020年5月15日)	5,358	20	1.7	27,452	1.3	98.1	－	5,099
211期末(2020年6月15日)	5,628	10	5.2	28,897	5.3	98.0	－	5,296
212期末(2020年7月15日)	5,763	10	2.6	29,628	2.5	97.8	－	5,404
213期末(2020年8月17日)	5,888	10	2.3	30,282	2.2	98.2	－	5,454
214期末(2020年9月15日)	5,921	10	0.7	30,567	0.9	97.8	－	5,430
215期末(2020年10月15日)	5,792	10	△ 2.0	30,026	△ 1.8	97.9	－	5,287

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSEオーストラリア国債インデックス（円換算）は、FTSEオーストラリア国債インデックス（豪ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSEオーストラリア国債インデックス（豪ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

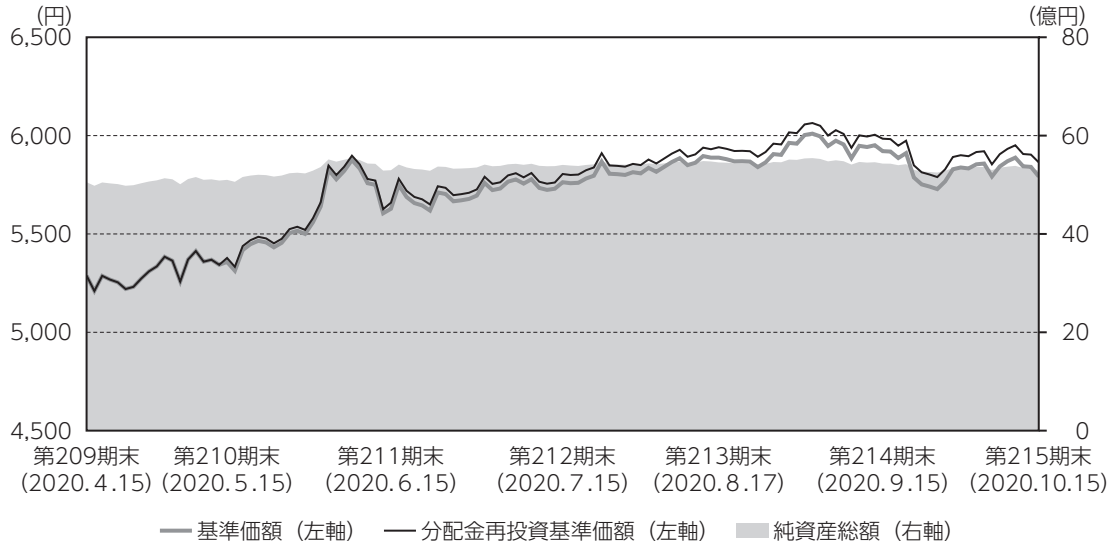
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第210期首：5,288円

第215期末：5,792円（既払分配金70円）

騰 落 率：10.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇、また豪ドルが円に対して上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E オーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 比 率	債 先 物 比 券 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第210期	(期首) 2020年 4 月15日	円 5,288	% -	27,107	% -	% 97.8	% -
	4 月末	5,384	1.8	27,576	1.7	97.8	-
	(期末) 2020年 5 月15日	5,378	1.7	27,452	1.3	98.1	-
第211期	(期首) 2020年 5 月15日	5,358	-	27,452	-	98.1	-
	5 月末	5,500	2.7	28,253	2.9	98.1	-
	(期末) 2020年 6 月15日	5,638	5.2	28,897	5.3	98.0	-
第212期	(期首) 2020年 6 月15日	5,628	-	28,897	-	98.0	-
	6 月末	5,695	1.2	29,259	1.3	98.0	-
	(期末) 2020年 7 月15日	5,773	2.6	29,628	2.5	97.8	-
第213期	(期首) 2020年 7 月15日	5,763	-	29,628	-	97.8	-
	7 月末	5,808	0.8	29,904	0.9	97.8	-
	(期末) 2020年 8 月17日	5,898	2.3	30,282	2.2	98.2	-
第214期	(期首) 2020年 8 月17日	5,888	-	30,282	-	98.2	-
	8 月末	5,959	1.2	30,510	0.8	97.7	-
	(期末) 2020年 9 月15日	5,931	0.7	30,567	0.9	97.8	-
第215期	(期首) 2020年 9 月15日	5,921	-	30,567	-	97.8	-
	9 月末	5,829	△1.6	30,199	△1.2	97.7	-
	(期末) 2020年10月15日	5,802	△2.0	30,026	△1.8	97.9	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.4.16～2020.10.15)

■オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は低下（債券価格は上昇）しました。

当作成期首から、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緩和的な金融政策の長期化が見込まれる中で、短期の年限では国債金利は低位で推移しました。2020年5月後半以降、各国で段階的に経済活動が再開されたことやワクチン開発への期待から、長期の年限で国債金利は上昇しました。しかし当作成期末にかけては、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念から、長期の年限でも国債金利は低下に転じました。また社債については、市場のリスク回避姿勢が後退したことでスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小し、金利は低下しました。

■為替相場

豪ドルは上昇しました。

当作成期首から、各国の大規模な財政・金融政策を背景に市場のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは上昇しました。2020年5月後半以降、各国で段階的に経済活動が再開されたことや新型コロナウイルスのワクチン開発への期待、また堅調な鉄鉱石価格を受けて、豪ドルは上げ幅を広げました。9月に入ると、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、豪ドルは上げ幅を縮めました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2020.4.16～2020.10.15)

■当ファンド

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することを通して豪ドル建ての公社債等を組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。

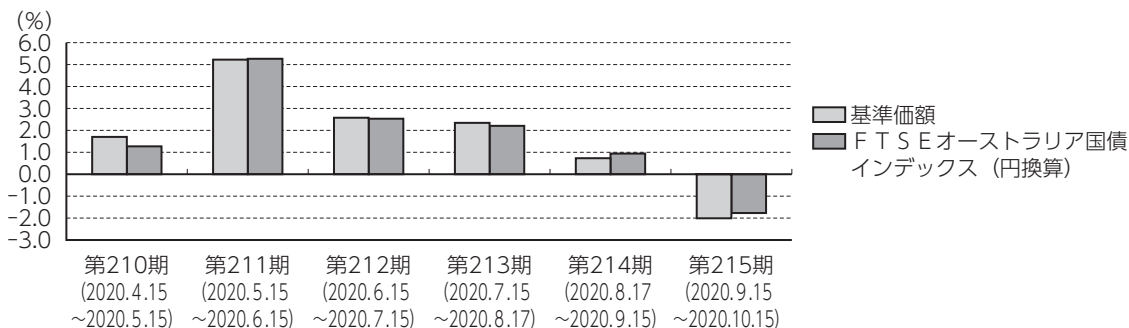
債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2020年4月16日 ～2020年5月15日	2020年5月16日 ～2020年6月15日	2020年6月16日 ～2020年7月15日	2020年7月16日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月15日	2020年9月16日 ～2020年10月15日
当期分配金（税込み）（円）	20	10	10	10	10	10
対基準価額比率（％）	0.37	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17
当期の収益（円）	13	10	10	10	10	9
当期の収益以外（円）	6	—	—	—	—	0
翌期繰越分配対象額（円）	236	242	247	254	258	257

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 13.78円	✓ 15.71円	✓ 15.11円	✓ 16.92円	✓ 13.75円	✓ 9.18円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 243.06	236.84	236.85	236.85	236.86	236.87
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	5.71	10.82	17.74	✓ 21.49
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	256.84	252.56	257.68	264.60	268.36	267.54
(f) 分配金	20.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	236.84	242.56	247.68	254.60	258.36	257.54

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

■ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第210期～第215期 (2020.4.16～2020.10.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.687%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,702円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.275)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.013	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0.700	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

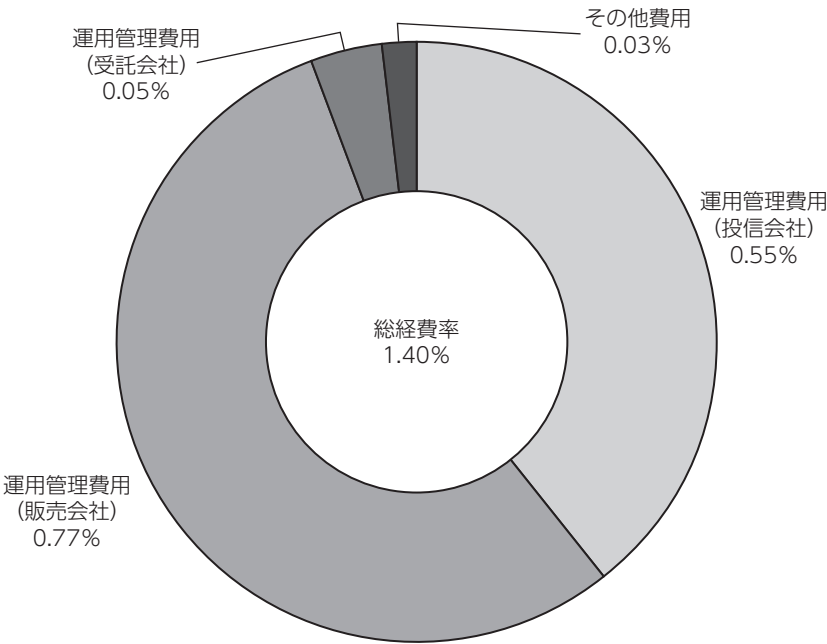
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年4月16日から2020年10月15日まで)

決 算 期	第 210 期 ～ 第 215 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド	1,548	4,117	128,426	355,504

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第209期末	第 215 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	1,990,363	1,863,486	5,260,807

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月15日)、(2020年6月15日)、(2020年7月15日)、(2020年8月17日)、(2020年9月15日)、(2020年10月15日)現在

項 目	第 210 期 末	第 211 期 末	第 212 期 末	第 213 期 末	第 214 期 末	第 215 期 末
(A) 資産	5,124,792,209円	5,326,778,640円	5,428,661,679円	5,490,813,119円	5,447,208,441円	5,309,331,676円
コール・ローン等	48,797,060	42,003,072	41,246,667	41,470,397	41,251,631	40,697,319
ダイワ高格付豪ドル債 マザーファンド(評価額)	5,075,210,172	5,270,002,813	5,378,485,309	5,428,274,656	5,404,495,250	5,260,807,710
未収入金	784,977	14,772,755	8,929,703	21,068,066	1,461,560	7,826,647
(B) 負債	24,822,785	30,309,205	24,315,038	36,526,344	16,513,202	22,274,073
未払収益分配金	19,036,641	9,411,256	9,377,697	9,263,675	9,171,264	9,127,961
未払解約金	20,250	14,650,050	8,769,544	20,352,621	1,183,877	6,879,950
未払信託報酬	5,731,482	6,176,410	6,060,031	6,761,728	5,973,765	6,045,756
その他未払費用	34,412	71,489	107,766	148,320	184,296	220,406
(C) 純資産総額(A－B)	5,099,969,424	5,296,469,435	5,404,346,641	5,454,286,775	5,430,695,239	5,287,057,603
元本	9,518,320,965	9,411,256,595	9,377,697,755	9,263,675,219	9,171,264,385	9,127,961,565
次期繰越損益金	△4,418,351,541	△4,114,787,160	△3,973,351,114	△3,809,388,444	△3,740,569,146	△3,840,903,962
(D) 受益権総口数	9,518,320,965□	9,411,256,595□	9,377,697,755□	9,263,675,219□	9,171,264,385□	9,127,961,565□
1万口当り基準価額(C/D)	5,358円	5,628円	5,763円	5,888円	5,921円	5,792円

*第209期末における元本額は9,554,645,309円、当作成期間（第210期～第215期）中における追加設定元本額は36,629,337円、同解約元本額は463,313,081円です。

*第215期末の計算口数当りの純資産額は5,792円です。

*第215期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,840,903,962円です。

■投資信託財産の構成

2020年10月15日現在

項 目	第 215 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	5,260,807	99.1
コール・ローン等、その他	48,523	0.9
投資信託財産総額	5,309,331	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル＝75.08円です。

(注3) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドにおいて、第215期末における外貨建純資産（9,773,887千円）の投資信託財産総額（9,792,757千円）に対する比率は、99.8%です。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第210期 自2020年4月16日 至2020年5月15日 第213期 自2020年7月16日 至2020年8月17日
第211期 自2020年5月16日 至2020年6月15日 第214期 自2020年8月18日 至2020年9月15日
第212期 自2020年6月16日 至2020年7月15日 第215期 自2020年9月16日 至2020年10月15日

項 目	第 210 期	第 211 期	第 212 期	第 213 期	第 214 期	第 215 期
(A) 配当等収益	△ 872円	△ 1,412円	△ 908円	△ 806円	△ 1,400円	△ 796円
受取利息	1	10	34	53	8	10
支払利息	△ 873	△ 1,422	△ 942	△ 859	△ 1,408	△ 806
(B) 有価証券売買損益	91,479,534	269,251,311	142,231,582	131,714,889	45,999,315	△ 102,780,736
売買益	91,770,032	272,882,659	142,522,382	132,391,690	46,550,898	277,287
売買損	△ 290,498	△ 3,631,348	△ 290,800	△ 676,801	△ 551,583	△ 103,058,023
(C) 信託報酬等	△ 5,765,894	△ 6,213,523	△ 6,096,377	△ 6,802,282	△ 6,009,741	△ 6,082,015
(D) 当期損益金(A+B+C)	85,712,768	263,036,376	136,134,297	124,911,801	39,988,174	△ 108,863,547
(E) 前期繰越損益金	△2,424,944,621	△2,322,401,354	△2,060,552,006	△1,909,556,544	△1,775,364,069	△1,735,653,117
(F) 追加信託差損益金	△2,060,083,047	△2,046,010,926	△2,039,555,708	△2,015,480,026	△1,996,021,987	△1,987,259,337
(配当等相当額)	(231,353,924)	(222,905,157)	(222,113,949)	(219,418,098)	(217,235,842)	(216,219,017)
(売買損益相当額)	(△2,291,436,971)	(△2,268,916,083)	(△2,261,669,657)	(△2,234,898,124)	(△2,213,257,829)	(△2,203,478,354)
(G) 合計(D+E+F)	△4,399,314,900	△4,105,375,904	△3,963,973,417	△3,800,124,769	△3,731,397,882	△3,831,776,001
(H) 収益分配金	△ 19,036,641	△ 9,411,256	△ 9,377,697	△ 9,263,675	△ 9,171,264	△ 9,127,961
次期繰越損益金(G+H)	△4,418,351,541	△4,114,787,160	△3,973,351,114	△3,809,388,444	△3,740,569,146	△3,840,903,962
追加信託差損益金	△2,066,001,500	△2,046,010,926	△2,039,555,708	△2,015,480,026	△1,996,021,987	△1,987,259,337
(配当等相当額)	(225,435,471)	(222,905,157)	(222,113,949)	(219,418,098)	(217,235,842)	(216,219,017)
(売買損益相当額)	(△2,291,436,971)	(△2,268,916,083)	(△2,261,669,657)	(△2,234,898,124)	(△2,213,257,829)	(△2,203,478,354)
分配準備積立金	—	5,379,027	10,153,756	16,439,825	19,718,141	18,869,507
繰越損益金	△2,352,350,041	△2,074,155,261	△1,943,949,162	△1,810,348,243	△1,764,265,300	△1,872,514,132

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 210 期	第 211 期	第 212 期	第 213 期	第 214 期	第 215 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,118,188円	14,790,283円	14,173,812円	15,677,015円	12,619,525円	8,379,853円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	231,353,924	222,905,157	222,113,949	219,418,098	217,235,842	216,219,017
(d) 分配準備積立金	0	0	5,357,641	10,026,485	16,269,880	19,617,615
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	244,472,112	237,695,440	241,645,402	245,121,598	246,125,247	244,216,485
(f) 分配金	19,036,641	9,411,256	9,377,697	9,263,675	9,171,264	9,127,961
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	225,435,471	228,284,184	232,267,705	235,857,923	236,953,983	235,088,524
(h) 受益権総口数	9,518,320,965□	9,411,256,595□	9,377,697,755□	9,263,675,219□	9,171,264,385□	9,127,961,565□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 210 期	第 211 期	第 212 期	第 213 期	第 214 期	第 215 期
1 万 口 当 り 分 配 金	20円	10円	10円	10円	10円	10円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

運用報告書 第36期（決算日 2020年10月15日）

（作成対象期間 2020年4月16日～2020年10月15日）

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

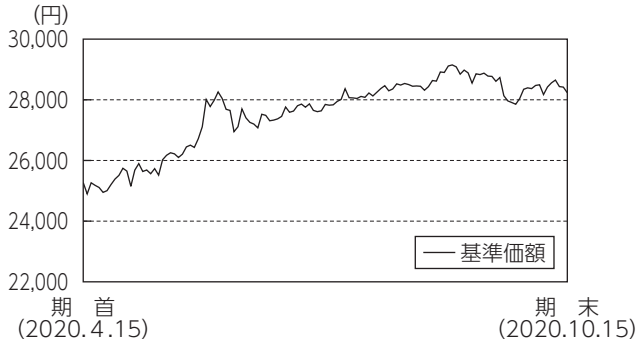
運 用 方 針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	内外の公社債、ＡＢＳ（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、ＭＢＳ（モーゲージ担保证券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSEオーストラリア 国債インデックス (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)2020年 4月15日	25,269	—	27,107	—	98.2	—
4 月末	25,743	1.9	27,576	1.7	98.3	—
5 月末	26,430	4.6	28,253	4.2	98.6	—
6 月末	27,453	8.6	29,259	7.9	98.5	—
7 月末	28,081	11.1	29,904	10.3	98.3	—
8 月末	28,901	14.4	30,510	12.6	98.2	—
9 月末	28,347	12.2	30,199	11.4	98.2	—
(期末)2020年10月15日	28,231	11.7	30,026	10.8	98.4	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSEオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：25,269円 期末：28,231円 騰落率：11.7%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入や債券価格の上昇、また豪ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○オーストラリア債券市況

オーストラリア債券市況は、金利は低下 (債券価格は上昇) しました。

当作成期首から、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緩和的な金融政策の長期化が見込まれる中で、短期の年限では国債金利は

低位で推移しました。2020年5月後半以降、各国で段階的に経済活動が再開されたことやワクチン開発への期待から、長期の年限で国債金利は上昇しました。しかし当作成期末にかけては、新型コロナウイルス感染再拡大への懸念から、長期の年限でも国債金利は低下に転じました。また社債については、市場のリスク回避姿勢が後退したことでスプレッド (国債に対する上乗せ金利) が縮小し、金利は低下しました。

○為替相場

豪ドルは上昇しました。

当作成期首から、各国の大規模な財政・金融政策を背景に市場のリスク回避姿勢が後退し、豪ドルは上昇しました。2020年5月後半以降、各国で段階的に経済活動が再開されたことや新型コロナウイルスのワクチン開発への期待、また堅調な鉄鉱石価格を受けて、豪ドルは上げ幅を広げました。9月に入ると、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念からリスク回避姿勢が高まり、豪ドルは上げ幅を縮めました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

豪ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。ポートフォリオの修正デュレーションは、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。債券種別構成に関しては、非国債の組入比率を高めに保ちました。為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの分析や金融市場の動向などを踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させるとともに、債券の種別構成や年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	3
（保管費用）	(2)
（その他）	(0)
合 計	3

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
公 社 債

(2020年4月16日から2020年10月15日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 563	千オーストラリア・ドル 503 (—)
		地方債証券	—	565 (—)
		特殊債券	2,981	12,701 (404)
		社債券	4,457	2,606 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2020年4月16日から2020年10月15日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
TREASURY CORP VICTORIA（オーストラリア） 1.5% 2031/9/10		225,102	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK（国際機関） 2.7% 2021/8/18		415,909
Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad（カナダ） 1.6% 2023/6/9		184,578	ASIAN DEVELOPMENT BANK（国際機関） 2.8% 2021/1/19		224,781
AUST & NZ BANK（オーストラリア） 4% 2026/7/22		144,770	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.（オーストラリア） 3% 2026/10/21		223,363
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND（オーストラリア） 2.25% 2022/11/21		42,321	Commonwealth Bank of Australia（オーストラリア） 3.25% 2022/1/17		192,601
			COUNCIL OF EUROPE（国際機関） 6% 2020/10/8		48,176
			AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY（オーストラリア） 4% 2024/5/22		42,680
			AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND（オーストラリア） 3.25% 2025/4/21		37,978
			INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT（国際機関） 2.8% 2021/1/13		37,473

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		末				
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 114,711	千オーストラリア・ドル 128,206	千円 9,625,741	% 98.4	% -	% 33.3	% 43.5	% 21.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当		期			末		償 還 年 月 日
区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	千オーストラリア・ドル 6,000	千オーストラリア・ドル 7,263	千円 545,333	2029/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	7,556	8,573	643,720	2025/04/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.0000	900	1,153	86,571	2047/03/21
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	2.2500	540	563	42,325	2022/11/21
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	4.0000	4,500	5,096	382,666	2024/05/22
	AUSTRALIAN CAPITAL TERRITORY	地 方 債 証 券	3.0000	2,000	2,306	173,196	2028/04/18
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	4.7500	3,000	3,454	259,334	2024/04/08
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	5.5000	5,000	5,385	404,354	2022/03/29
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	2.7000	3,000	3,139	235,749	2022/09/05
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特 殊 債 券	5.0000	8,000	9,265	695,649	2024/03/19
	Airservices Australia	特 殊 債 券	4.7500	4,400	4,417	331,673	2020/11/19
	Airservices Australia	特 殊 債 券	2.7500	2,860	2,984	224,101	2023/05/15
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.0000	400	458	34,438	2026/10/21
	South Australia GOV.FIN.AUTH.	特 殊 債 券	3.0000	5,000	5,784	434,330	2028/05/24
	TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	3.0000	3,500	4,075	305,978	2028/10/20
	TREASURY CORP VICTORIA	特 殊 債 券	1.5000	3,000	3,041	228,384	2031/09/10
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	5.7500	2,000	2,408	180,842	2024/07/22
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	3.2500	10,000	11,540	866,475	2026/07/21
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	4.7500	9,500	11,069	831,069	2024/08/07
	NORDIC INVESTMENT BK.	特 殊 債 券	5.0000	5,000	5,356	402,143	2022/04/19
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	5.0000	3,000	3,200	240,256	2022/03/09
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	2.7000	1,615	1,649	123,826	2021/08/18
	Toronto-Dominion Bank/The	社 債 券	2.0500	1,800	1,870	140,436	2024/07/10
	University of Sydney	社 債 券	3.7500	6,000	6,719	504,479	2025/08/28
	Australian National University	社 債 券	3.9800	4,040	4,562	342,542	2025/11/18
	Bank of Nova Scotia/Australia	社 債 券	3.2000	600	644	48,417	2023/09/07
	Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad	社 債 券	1.6000	2,500	2,536	190,459	2023/06/09
	University Of Melbourne	社 債 券	4.2500	2,400	2,460	184,740	2021/06/30
	Macquarie University	社 債 券	3.5000	1,000	1,135	85,233	2028/09/07
	AUST & NZ BANK	社 債 券	4.0000	1,700	1,998	150,025	2026/07/22
	Commonwealth Bank of Australia	社 債 券	3.2500	2,500	2,593	194,751	2022/01/17
	Westpac Banking Corp	社 債 券	3.2000	1,400	1,494	112,232	2023/03/06
合 計	銘 柄 数 金 額	32銘柄		114,711	128,206	9,625,741	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	9,625,741	98.3
コール・ローン等、その他	167,016	1.7
投資信託財産総額	9,792,757	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル=75.08円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（9,773,887千円）の投資信託財産総額（9,792,757千円）に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年10月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,792,757,031円
コール・ローン等	42,556,710
公社債(評価額)	9,625,741,028
未収利息	85,362,641
前払費用	342,185
差入委託証拠金	38,754,467
(B) 負債	11,148,957
未払解約金	11,148,957
(C) 純資産総額(A－B)	9,781,608,074
元本	3,464,814,115
次期繰越損益金	6,316,793,959
(D) 受益権総口数	3,464,814,115口
1万口当り基準価額(C／D)	28,231円

* 期首における元本額は3,772,561,191円、当作成期間中における追加設定元本額は11,727,280円、同解約元本額は319,474,356円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界債券ファンドM（FOFs用）（適格機関投資家専用）85,758,896円、常陽3分法ファンド47,570,573円、ダイワ世界債券ファンドV A（適格機関投資家専用）9,297,173円、ダイワ世界債券ファンド（毎月分配型）1,456,402,503円、ダイワ世界債券ファンド（年2回決算型）2,298,834円、ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）1,863,486,136円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は28,231円です。

■損益の状況

当期 自2020年4月16日 至2020年10月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	170,893,040円
受取利息	170,896,659
支払利息	△ 3,619
(B) 有価証券売買損益	930,618,697
売買益	958,379,051
売買損	△ 27,760,354
(C) その他費用	△ 957,110
(D) 当期損益金(A + B + C)	1,100,554,627
(E) 前期繰越損益金	5,760,293,188
(F) 解約差損益金	△ 564,339,456
(G) 追加信託差損益金	20,285,600
(H) 合計(D + E + F + G)	6,316,793,959
次期繰越損益金(H)	6,316,793,959

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。